

岡山・備中フリークライミング

岩田

【日時】2007年5月3日（木）～5日（土）

【メンバー】L岩田、子安、Hさん(会員外)

ついにここまで来てしまった…。西日本屈指のエリア、備中へ。東京から高速バスで倉敷の駅に降り、レンタカーで備中の岩場に向かう。フリークライミングを始めて5年くらい経っただろうか。時間はかかったがなんとか5.11台のルートがまともに登れるようになった。そこでこの連休に手ごたえのあるところを登りたいと考えたら子安さんと備中に行こうと話しがまとまった。しかし、グレードが辛口と言われる備中である。果たして我々に登れるだろうか。

備中と言えば超有名エリアで連休は小川山のように大混雑なのだろうと思っていたが意外にもベースとなる用瀬小屋のキャンプ場は閑散としていた。トイレ、シャワー（今回は使用不可だった）付きでなかなか快適なキャンプ場。車で20分ほどのところに大型スーパーもあり申し分ない。こんな便利な岩場は関東には見当たらない。こういう岩場は大切にしたいものだ。



◎5月3日 用瀬の嶽・2ルンゼ

まずはキャンプ場のすぐそばにある2ルンゼに向かう。キャンプ場は閑散としていたがここにはすでに多くの人々がいた。ここは備中でも人気エリアなのだ。見上げる壁は高く、長い石灰岩のルートが連なっていた。

【ダンゴのリズム】 (5.10 b)

まずはウォーミングアップにこのルートに取り付く。1本目のボルトが遠く緊張するがホールドは落ち着いていけばわかる。しかし石灰岩は滑りやすく登りにくいのも事実。それでもなんとかオンサイト。子安さんにトップロープを張って登ってもらうが苦勞している。やはりグレードは1～2ランクくらい上と見ておいた方がいいだろう。

(右写真：トライ中のHさん)



【奥の手】 (5.10 d)

登る前は5.12aを登りたいと思っていたがそんなに甘くないな、と考えここは謙虚になって徐々にグレードを上げていくことにした。5.11台を登る前にここを登っておくかと思ったがやはり甘くなくオンサイト失敗。とても5.10台とは思えない。

それでもなんとか抜けたがここでパワーを使ってしまってはどこも登れなくなってしまふ。レッドポイントは諦め目標となるルートを探す。

【半分バナナ】 (5.11 b/c)

当初は寺島ルート (5.12a) を登ろうと思っていたがここは人気ルートで順番待ちができていた。自分を取り付いたら時間がかかって迷惑がかかりそうなのでそのすぐ右隣にあるこのルートに挑戦することにした。すでに上半身裸の若者が挑戦していたが上部のトラバース気味のところでフォールして叫んでいた。

取り付いてみると下部は適度なガバが続くがややかぶり気味で力をセーブしていくのがコツのように思えた。中間部のレストポイントから左のコルネを使って左上に行くのが第一の核心。しかし、左上のカチを取りにいくまで何度も落ちる。ここを越えると最大の核心トラバースが待っている。登り方はいろいろあって下から直上する方法もあるようだが自分はトラバースで登った。当然このフォール。右上のガバを取りにいくのに一苦勞。ここを越えても今度は第3の核心、カチとポケットの直上だ。ここを越えてようやく終了である。2回挑戦したが全く歯が立たなかった。しかし、可能性はあるのでなんとしてもこれは落とさないと思った。

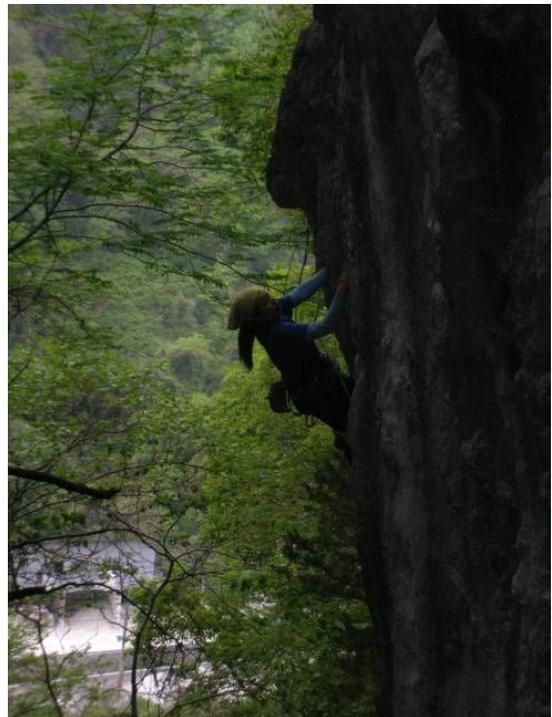
◎5月4日 用瀬の嶽・2ルンゼ

この日の目標は「半分バナナ」のみだったので自分はこれ1本に絞って登りこむことにした。「かぶったエイト」(5.9)でウォーミングアップをして早速、取り付く。やはり難しいがそれぞれの核心はなんとか登れるようになった。あとは繋げるだけである。やはりいかに下部で力をセーブして上部でいかにレストするかがポイントのようだ。すでにムーブは頭の中に入っている。ここはテクニックやパワーでなく精神力の勝負だ。気合を入れてトータル6回目の挑戦。思ったより下部はスムーズに進む。3つの核心のレストポイントでも落ち着いていられた。「これはいける」と考え始めると強気になれる。各核心を抜け最後のポケットをとり終了点のガバを取ってレッドポイント成功。これは快挙！体感グレードは5.11dくらいあったように思えた。

【象の鼻】(5.11a)

自分が半分バナナを挑戦している間、子安さん、Hさんはこのルートに挑戦していた。ここも人気ルートで地元の女性グループがなんども挑戦していたがなんどもフォールして難しそうだった。残念ながらふたりともレッドポイントはならなかった。

(右写真：トライ中の子安さん)



この日は最後に岡山エリアを登った。子安さんが是非登りたいと言っていた「40cmの一本ウンコ」(5.11c)はスラブ状フェイスでとても我々が登れるようなものではなかった。

◎5月5日 長屋坂

この日はキャンプ場から車で移動して長屋坂のエリアに向かう。ここも人気エリアで続々と人が集まってきた。まずはザグ(5.9)とプラナン(5.9)でウォーミングアップをする。この日になって気が付いたのだが備中のエリアはすべて石灰岩なのだがエリアごとに同じ石灰岩でも特徴がある。2ルンゼはコルネとポケットが発達していて、岡山エリアは花崗岩に近かった。そしてこの長屋坂はツルツルの岩が多い。

ここで偶然にも有名クライマー・東秀磯さんに遭遇。子安さん、Hさんは一緒に写真をとったりサインをもらったりとご満悦だった。東さんからしきりにレイクビューのエリアを勧められた。「案内しましょうか？」とまで言ってくれる。しかし残念、今日で帰るので時間がないのだった。



【黒島の交差点】 (5.11 c)

いきなりドッカぶりのハングからスタートである。まさかこんなハングを登るとは想定していなかったので手も足も出ない。ヌンチャクを掴みながらもなんとか登ったがすでに意気消沈。レッドポイントを狙おうとは思わなかった。しかし、その後うまく登る人がいて自分とは全く違うムーブをしていた。たまには人の登りを見るのも重要なのだ。

【ストライクバック】 (5.11 b/c)

白いきれいなフェイスである。短いがなかなか面白そうだ。中間部までは安定した縦ホールドが続きツルツルのフェイスの数少ないスタンスを拾って遠くのガバを取るのが核心。3回目のトライでなんとか自分がレッドポイントに成功。我ながら核心でよく粘ったと関心。このグレードはこれで妥当かな。

【スプリング】 (5.11 a)

ここはHさんがレッドポイントに挑戦し2回目で成功。

◎ 終わってみて…

行く前にクライミングの師ともいえる塚越さんから「3日で備中なんてもったいない」と言われていたがその意味がようやくわかった。エリアが広すぎて3日ではあまりにも短いのである。しかしそれでも収穫はあった。当初は5.10台がやっとなではないかと思っていたが5.11台を2本登ることができた。パワー、テクニクが少しずつついていたのはもちろん、精神的にもちょっと強くなったような気がする。一番重要なのはやる気と諦めないこと。子供っぽい言い方だがそれを再認識した。

3日間つきあってくれた子安さん、Hさんありがとう。しつこくトライする自分をビレイしていただき感謝します。是非、来年も備中にいきましょう。